

令和6年度「運輸部門エネルギー使用合理化・非化石エネルギー転換推進事業費補助金
(新技術活用サプライチェーン全体輸送効率化・非化石エネルギー転換推進事業)」
に係る補助事業者の1次公募の結果について

令和6年度「運輸部門エネルギー使用合理化・非化石エネルギー転換推進事業費補助金（新技術活用サプライチェーン全体輸送効率化・非化石エネルギー転換推進事業）」に係る補助事業について、令和6年6月12日から令和6年7月10日まで公募を行い、応募のあった提案について、第三者で構成される審査委員会による厳正な審査を行った結果、次のとおり補助事業者を決定しましたのでお知らせします。

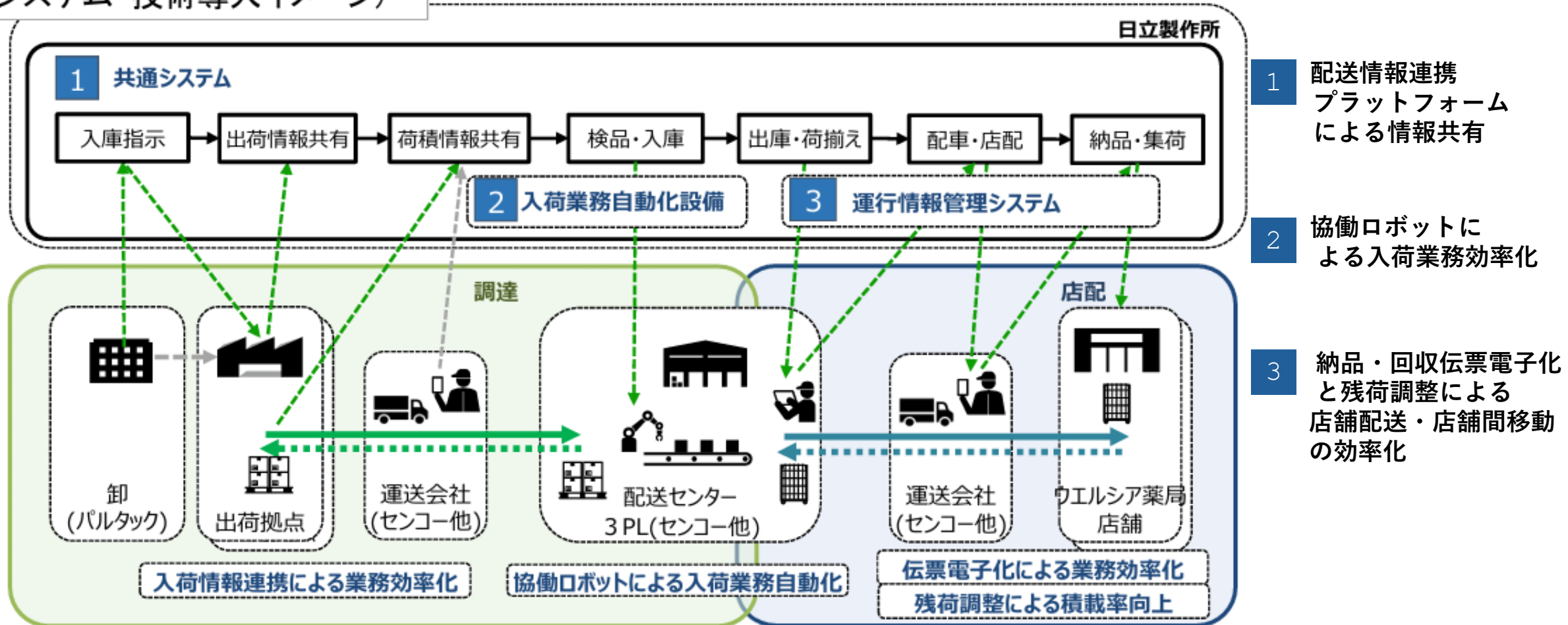
事業者	ウエルシア薬局株式会社
事業名	配送情報連携プラットフォームと自動化設備を利用したエネルギー消費削減実証事業 (メーカー入荷から店舗納品までサプライチェーン全体の輸送効率化)
補助金額	79,648,000円(補助率1/2 ※令和6年度のみ補助金)
事業の特徴	サプライチェーンにおいて情報が非連続に管理されるという課題に対して、共通システムを用いた卸・メーカー・小売・運送事業者間の荷物・車両情報の連携を行い、自動化設備も活用し、運行便数の削減や荷待ち時間の削減による輸送効率化を行い、エネルギー削減をめざします。
省エネ率	▲6.9%の省エネ効果を見込む

配送情報連携プラットフォームと自動化設備を利用したエネルギー消費削減実証事業

事業の概要

配送センターの入荷業務において、発注から納品までの情報分断によって発生する、未納品の探索などの課題に対し、共通システムを用いて一気通貫の情報連携を行い、車両の待機・滞留時間の削減など、消費エネルギーの削減を図ります。

(システム・技術導入イメージ)



配送情報連携プラットフォームと自動化設備を利用したエネルギー消費削減実証事業

事業全体計画

令和6年度で、共通システムおよび運行情報管理システム、入荷業務自動化に係るシステム環境構築から実証までの費用を補助対象として実証事業を行います。

また実証後の課題対応や横展開に向けた追加実証事業も、令和7年度に継続申請します。

(実施内容別のスケジュール)

NO.	項目	補助対象	概要	R6年度	R7年度
1	システム設計・開発	○	共通システム開発 (メーカーASN・WMS連携)	→	
		○	運行情報管理システム開発	→	
		○	センターWMS改修	→	
1	共通システム運用	○	配送情報連携プラットフォーム サービス利用	→	
		—	補助事業事務局へ報告	●	●
3	運行情報管理運用	○	ドライバー用携帯端末制作	→	
		○	システム展開	→	
2	入荷業務自動化設備費用	○	協働ロボット制作	→	
		○	据付・導入	→	

配送情報連携プラットフォームと自動化設備を利用したエネルギー消費削減実証事業

実施体制

- ウエルシア薬局 : 事業全体の統括。ステークホルダーに対して、本サービスや自動化設備の利用環境を提供し、事業の利用促進を行います。
- PALTAC : ウエルシア薬局からの発注勧告を受けて、各メーカーに対して出荷指示を行います。また、メーカーからの出荷予定(=配送センターの入庫予定)を本サービスに登録します。
- センコー : 輸送・3PL事業者として配送センターの運営と店舗への納品を行います。入荷業務では、自動化設備などを使用した省人化、店舗配送はドライバーに携帯端末を配備し、伝票の電子化に対応します。

申請者

代表申請者

ウエルシア薬局株式会社

共同申請者

株式会社PALTAC

センコー株式会社

協力

メーカー

エステー株式会社
牛乳石鹼共進社株式会社
大塚製薬株式会社
ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング株式会社

共同倉庫

愛宕倉庫株式会社
大塚倉庫株式会社

SIP 物流情報標準ガイドライン適用

公益財団法人流通経済研究所
株式会社プラネット

技術提供

株式会社日立製作所